

SDGsシネマ「明日塾」

後援：東京都北区

『食べることは生きること ～アリス・ウォータースのおいしい革命～』

「食べ方を変えれば、人の価値観、そして社会が変わります。さあ、皆で動きましょう。
気候変動を止め、地球と私たち自身の健康を回復するために。」 アリス・ウォータース

WE ARE WHAT WE EAT

映画と特別講演「コミュニティファーム」

コンポストアドバイザー 美喜子

2025年3月22日(土)午後1時30分～4時

北とぴあ ドームホール 入場無料(申込順)

主催／NPO法人北区リサイクラー活動機構

協力／一般財団法人都市農地活用支援センター



©2024 アリス映像プロジェクト/Ama No Kaze

『 食べることは生きること』

～アリス・ウォータースのおいしい革命～』

「おいしい革命家」アリスのはじまり



1971年、カリフォルニア州バークレーにアメリカで初めて、地域の農家と食べ手を直接つなぐフランス料理店「シェ・パニース」が開店した。旬を生かした料理と気取らないあたたかさで客をもてなし、予約の取れない人気店となった「シェ・パニース」。その在り方はのちに「地産地消」「ファーマーズ・マーケット」「ファーム・トゥ・テーブル」というコンセプトに発展し、世界中で知られるようになる。そんな「シェ・パニース」のオーナーの名前は、アリス・ウォータース。半世紀をかけて、世界中の料理人と教育者に影響を与え、「オーガニックの母」「おいしい革命家」と呼ばれるようになった。

日本の給食や生産者、料理人との出会い

2023年、アリスの集大成となる書籍『スローフード宣言 ― 食べることは生きること―』（海士の風）の出版1周年を記念して、著者来日ツアーが開催された。アリスが日本各地を訪れ、学校給食を味わい、大地の守り手である生産者、料理人と触れ合っていく。そこで語られる力強い言葉と、彼女のまなざしが日本の「美しさ」を浮き彫りにする。日本、そして彼女の拠点であるカリフォルニア・バークレーでの取材を通じて、「おいしい革命」の探求へと向かう。未来につなぐための映画は、きっとあらゆる人の食卓を変えていく。

- 監督・撮影・編集：田中順也
- プロデューサー：長谷川ミラ、田中順也、阿部裕志、小野寺愛
- 出演：アリス・ウォータース 他
- 制作：jam
- 製作：海士の風 ● 字幕：小野寺愛
- 配給：ユナイテッドピープル
- 66分/日本/2024年/ドキュメンタリー

特別講演「コミュニティファーム」



講師/コンポスト
アドバイザー
美喜子

渋谷区在住コンポスト
アドバイザー&循環染色家

【自然・いのち・喜びの循環】をテーマに、改めて都心での実践にこだわり、生ごみ等での堆肥作りを通し、人と自然の絆再生・心の通う資源循環を創造している。

17年暮らした佐渡島の自然や人、ニューメキシコ・タオスプエブロの地と人（ネイティブアメリカン）から受け取ったこと等が今の活動に大きく影響を与えている。非営利団体「コンポスト東京」立ち上げ準備中。

■ 開催日時/2025年3月22日(土)午後1時30分～4時（開場午後1時）

■ 会場/北とぴあ6階ドームホール(北区王子1-11-1)

■ 参加/無料（申込順100名）

■ お申込み/www.kitakurecycler.or.jp（2月1日より一般申し込み開始）

メール/recycler3196@outlook.jp

電話/03-3810-0688、FAX 03-3800-2565（阿部）

■ 主催/NPO法人北区リサイクラー活動機構

■ 後援/東京都北区

■ 協力/一般財団法人都市農地活用支援センター、北区男女共同参画推進ネットワーク

お申込みはこちらから⇒

